

## 神奈川歯科大学同窓会学術講演会 「日常歯科臨床に必要な免疫の話」

平成17年10月23日（日）安保徹先生（新潟大学大学院免疫学・医動物学分野 教授）をお迎えしての学術講演会が開催されました。当日は安保先生のご都合により午前中の時間が空いてしまいましたので、急遽、本学7回生の別部尚司先生に「安保先生の講演をわかりやすくするために」ということでお話いただきました。この場を借りて別部先生にはお礼申し上げます。安保先生独特の津軽弁混じりのゆっくりとしたご講演で、内容もすばらしく、参加していただいた先生方には大変満足していただけたと思います。

ここでアンケートの中から2、3紹介いたします。「この講演を知ったのは何ですか？」の質問に対して、今回は「友人の紹介」で参加された先生が多かったのが特徴的でした。安保先生の「講演について」は「話がわかりやすく面白かった」という記載がありました。「運営について」は「集客が少ないのが残念・宣伝が問題」と書いてくださ

る先生がおりました。安保先生の話（会員であれば）無料で受講できるのにどうして集まらないのか？という意味だと思います。委員会では商業雑誌2社に広告も出しましたし、以前受講された先生方にはメールでお知らせもいたしました。また、機会がある度にパンフの配布とか宣伝してきましたが、（参加者数はスタッフも含めて約80名）あまりにも勿体ない講演だったと思います。他に宣伝で良いお知恵があれば拝借したいと思います（ただし、費用がかからない事が前提ですが）。

最後に安保先生の現況をお伝えして学術報告といたします。「若い教室員と共に、胸腺外分化T細胞（NK1.1<sup>+</sup>T）の自己応答性の生物学的意義を研究。心にゆとり生活に遊びがないと、医者は病気を理解できないし、研究者は大発見ができないと思う。」

（学術委員会 秋本 進）

